

大松だより

発行日 令和8年9月18日
徳島市 大松小学校

アイデア貯金箱

2学期が始まりました

今年の夏も、全国的に記録的な猛暑となりました。気象庁によると、この夏（6～8月）に40度以上の最高気温（酷暑日）を観測した地点は、全国でのべ36地点にもものぼるそうです。

そのような中で、2学期がスタートしました。いろいろな宿題を手に抱え、楽しい夏休みの思い出を心に留めて、元気に笑顔で子どもたちは登校してきました。その姿から充実した夏休みを過ごしたことが十分に想像でき、たいへんうれしく思いました。45日間の夏休み中、子どもたちが大きなけがや事故もなく安全に有意義に過ごせたのは、保護者の皆様、地域の皆様の温かい励ましや見守りのおかげです。改めて感謝を申し上げます。

静かだった教室や運動場に子どもたちの明るい声が響き、学校に活気が戻り、みんなわくわくしています。2学期は、子どもたちが各学年の生活にも慣れ、学校生活を充実させることができる時期です。熱中症や感染症に気をつけながら、よりよい教育活動を推進していこうと考えています。2学期も、大松小学校の教育活動に対しまして、保護者の皆様の励ましや地域の皆様のご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

また、今後も台風や秋雨前線の影響を受け、徳島市・小松島市にレベル3以上の警報が発令されることも考えられます。そのため、自宅待機や午後からの登校、臨時休校等の連絡につきましては、できるだけ早くスグールにて発信するようにいたします。子どもたちが安全に登下校したり、見守りで過ごしたりすることができますよう、保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

夏休みの自由研究と「生きる力」

教室や廊下に、夏休みの自由研究の成果が掲示されています。子どもたちが取り組んだ自由研究のテーマのいくつかを書き並べてみます。

「クワガタの観察」「雑草は何度のお湯で枯らせるか」「手作り藍染め体験」「物の落下の仕方」「マグロの不思議」「ブルーインパルスとは」「トイレのレバーの秘密と工夫」「干物の研究」「鉛筆の秘密」「夏の花の花言葉」「手打ちうどんができるまで」等、身の回りにあるもの、普段何気なく見過ごしているもの、自分が興味や関心をもっているもの、実に多彩なテーマです。

テーマやその内容からは、わくわくする期待感、新しい発見や驚きと、さらに追究したいという意欲が感じられました。自ら課題を見つけ、その解決方法を考え、実際に観察や実験、調査を行い、結論を導き出して考察するという一連の流れの中で、子どもたちは、テーマについてだけでなく、学び方や、ものの見方・考え方を身に付けていきます。このような学びが積み重なり、日々の学習や生活における経験と複雑に絡み合っ、て、「生きる力」が育まれるわけです。

私が学級担任をしていた頃、ある3年生男児の自由研究にとっても心を打たれたことがありました。タイトルは「近所の犬調べ」。模造紙一面に自宅付近の略地図が描かれ、それぞれの家で飼われている犬のイラストとともに、犬種や毛色、性格などが詳しく書かれていました。その児童は「難しい研究はできなかったけど、一生懸命調べました。」と照れながら話してくれました。その児童は動物が大好きなので、近所の家々をまわって熱心に観察している姿が目に見え、浮かびました。「自由研究」や「自主勉強」は、自分の興味関心や得意分野の力を更に伸ばすためのものであってほしいと思います。

変化が激しく予想が困難な社会をたくましく生き抜いていくためには、自ら一步を踏み出す勇氣や思考力・判断力・表現力、そして「生きる力」が必要です。自ら考え学び行動することの大切さをしっかりと確認し、2学期の学校生活を送ってほしいと願っています。

